

色の見分け 誰も容易に

静岡文化芸術大 U Dテーマ公開講座



静岡文化芸術大は5日、ユニバーサルデザインをテーマにした公開講座を浜松市中区の同大で開講した。11月まで全3回の講座を行い、多様性を尊重する社会について考える。

一環。

初回は自身も色覚障害のある東京慈恵会医科大学解剖学講座の岡部正隆教授が講師を務め、カラー・ユニバーサルデザイン(CUD)

について解説した。さまざまな色が使われた折れ線グラフを例に、線の種類や点の形を変えることで色覚障害のある人にも違いが判別でき、情報が伝わりやすくなると説明。使用する色については「色が見分けにくい人にも、そうでない人にも分かりやすい色を選んで」と強調した。

色のユニバーサルデザインについて解説する岡部教授
（浜松市中区の静岡文化芸術大）

今後は音や移動性を題材にした講座を予定している。
(浜松総局・鈴木侑季)

